

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

B. 円滑な学位授与の促進

②厳格な成績基準と評価基準の設定や学位授与プロセスの明確化

《人社系》

●関西学院大学社会学研究科社会学専攻

「社会の幸福に資するソーシャルリサーチ教育」の事例

(具体的に何を実施したのか)

以前から採用していた博士学位キャンディデート制度を、後期課程三年間での博士論文提出を可能にすべく制度化・体系化・厳格化することによって、後期課程在籍生が学位取得に向けて計画的に自身の研究に専念できる指導体制を整えた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

従来の制度ではキャンディデート取得後の指導体制が必ずしも制度化されていなかった点に鑑み、キャンディデート取得後のできるかぎりはやい時点で論文提出が果たせるように、キャンディデート取得後の研究状況を把握することを機関として目指した。具体的には、平成 20 年度より、必要に応じてキャンディデート取得に対して教務・学生正副委員による面談を実施した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

博士キャンディデートの制度化・体系化・厳格化を実施して以降、博士課程在籍者による学位取得は計画的かつ円滑に進捗していることが、博士学位取得者数からも確認できる。(博士学位取得者数：平成 19 年度 3 名、平成 20 年度 3 名、平成 21 年度 7 名、平成 22 年度 5 名)